

自己評価報告書
2017年度

1, 学校の教育目標

本校の教育理念は「学生の目的に適した日本語教育」であり、日本国内における進学や就職及び帰国進学や帰国就職時に必要な日本語力と日本文化を正しく理解させるために教育することである。

また、日本ででの生活経験や本校で学んだことを、母国と日本の架け橋となるべく人材を育成する。

2, 開校当初より学生に掲げるキーワード計画

本校開校より友ランゲージアカデミーは「楽しく・まじめに 日本語を学ぼう！」をキーワードとして、学校運営及び学校教育に生かしている。初めて経験する日本ででの生活に於いて、本校での学習やアルバイトを通じた日本社会経験など、学生が目的・目標を忘れることなく日本語学習に励むことができるように教職員が常に学生に対して意識付けしなければならない。また、友国際文化学院は「確実な日本語力！確実な進学！」を掲げ、学生の日本語力と卒業後の進学について、より強固に指導していかなければならない。

3, 評価項目の鉄製及び取り組み状況

(1)教育目標・理念

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
学校の教育目標・理念は定められているか	④・3・2・1
社会のニーズ・学生のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④・3・2・2
学校の教育目標・理念などが学生や保護者・紹介機関に周知されているか	④・3・2・3

本校の教育目標や理念は、開校当初より本校に合った学生募集をテーマに行っており、紹介機関を通じて、学生・保護者に周知できていると考える。教育という現場に於いて、学校経営のみを重視した学生募集を行わず、本校を正しく理解し学ぶ意欲の高い学生に入学して頂く為に、各国での説明会や入学試験を行っている。

(2)学校運営

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
目的に沿った運営方針が策定されてるか	④・3・2・1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④・3・2・1
運営組織や意志決定機能は、規則などにおいて明確化されているか、有効に機能しているか	④・3・2・1

学生管理システムなどの開発及び導入により、学生管理や教育進捗など具体的に利用することができた。また、今年度も専任教職員に於いては、各委員会を設置しそれぞれの委員会にて学校運営に関する討議や改善点などが挙げられ、一定の成果を上げることができた。学生管理システムの改良をすすめ今後の効率化に期待が持てる。

(3)教育活動

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	④・3・2・1
教育理念や学生のニーズに踏まえた教育機関として、教育到達レベルの確認や補講などは明確にされているか	④・3・2・1
学生や時代のニーズに合ったカリキュラムや教育方法の工夫や開発などがされているか	④・3・2・1
学生からの授業評価の実施及び評価体制はあるか	4・③・2・1
成績評価の基準は明確になっているか	④・3・2・1

教職員の能力開発の為の研修などが行われているか	④・③・②・①
-------------------------	---------

進学や就職など学生が目標とする日本語力を向上させるために、各校で様々な取り組みを行っている。日本語レベルに応じたクラス編成(友ランゲージ)・学生との個人面談を頻繁に行い学習成果の確認などを行う(友国際文化)。また、友国際文化学院では、日本人のゲストを招いてのゲスト会話授業を積極的に行っている。各期末には、教務担当者による日本語教育に関する勉強会を定期的に関いており、それぞれが研究テーマを持ち日々向上を目指している。

(4) 学習成果

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
進路決定率の向上が図られているか	④・③・②・①
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④・③・②・①
日本語能力試験や日本留学試験の結果を把握し分析しているか	④・③・②・①
日々の学習成果を確認しているか	④・③・②・①

非漢字圏学生のJLPT N2合格率は、想定以上の成果が表れた。ターム休み中の対策講座や授業時間内での対策授業の成果が結果として表れた。友国際文化学院では、定期的に日本人との会話授業を行っており、卒業時における会話レベルは一定の成果を挙げることができた。

(5) 学生支援

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
進学・就職に関する支援体制は整備されているか	④・③・②・①
学生相談に関する体制は整備されているか	④・③・②・①
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④・③・②・①
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④・③・②・①
学生の生活環境への支援は行われているか	④・③・②・①

大学進学担当・専門学校担当・就職担当により学生への指導・支援体制ができている。学校奨学金・サポートシップ奨学金・2年目以降の学費分納など学生の経済的援助を行っている。入学後の健康診断や体調不良時には、各言語のスタッフが病院まで連れて行くなどの支援を行っている。学生寮を完備しており、学校より徒歩圏内にあり安価である。また、食費サポートシステムを構築し、昼食などの

(6) 学生の受入募集

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
学生募集活動は適正に行われているか	④・③・②・①
学生募集活動において、教育成果や学習指導状況が正確に伝えられているか	④・③・②・①
学納金は妥当なものとなつてうるか	④・③・②・①

各国の留学センターに於いて、本校の説明を十分に行い、本校に見合った学生を紹介してもらえる体制が整っている。留学センター担当者の学校見学は、積極的に行っており学生寮なども含め学校のみならず生活環境も見学いただいている。納入金は、妥当な金額であるとする。経済的理由による分納制度など、学生負担が掛かりすぎないような努力を行っている。

(7) 財務

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④・③・②・①

中長期的に予収の財務基盤は安定しているといえるか	④・③・②・①
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④・③・②・①
財務について会計監査が適正に行われているか	④・③・②・①

2017年年間学生総数が300名を超え、学校単体での財務状況も好転している。
2018年4月に札幌校を予定しており、事業全体の発展が見込める。
監査役による分析を行っており、順調な運営であると言える。

(8) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4・③・2・1
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	④・③・②・①
地域や関連行政との交流や情報交換を行っているか	④・③・②・①

地域社会との交流や地域での清掃活動など、学生及び教職員のボランティア活動への参加も積極的に行うことができてきた。

また、地域の日本語学校との連絡や情報交換、警察や行政との連携も密にしている。